

## 平成 26 年度 房総導水路施設見学会の開催

4月17日(木)、23日(水)、28日(月)の3日間に分けて、新年度に着任された関係機関の方々を主な対象として、房総導水路の各施設の役割や、本年度に着工予定の緊急改築事業の内容を知って頂くことを目的に、『房総導水路施設見学会』を開催しました。

開催した3日間で、千葉県水政課を始めとする関係6機関から32名の方々に参加頂くと共に、本社関係部からも同行頂きました。

見学ルートは、利根川の取水口を出発点として水の流れに合わせて下流に移動する内容にしました。具体的には、「利根川両総水門」「両総第一揚水機場」を経て、午後には、「栗山川注水工」、「横芝揚水機場」、「東金ダム」、「大網揚水機場」及び「長柄ダム」に至るもので、房総導水路の総延長約100kmに対し、約70kmの行程です。

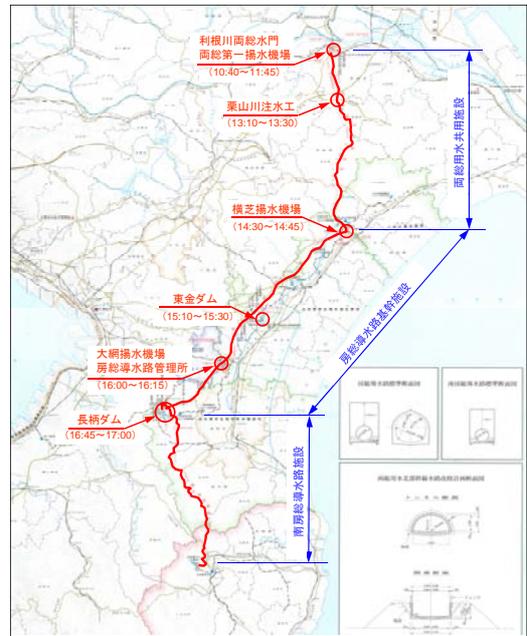
まず、利根川両総水門と、両総第一導水路を経た両総第一揚水機場及び、吐水槽を見学しました。

次いで利根川からの揚水を県管理河川の栗山川に注水する栗山川注水工を見学しました。この場所では、千葉県東方沖地震(S62.12)の発生で被災した房総導水路(両総用水共用区間)に対して、緊急的に近傍の施設である北総東部用水から導水を行った事例の説明を行いました。

横芝揚水機場ではポンプの見学と、緊急改築事業での整備計画の説明を行いました。次いで東金ダムに向かい、ダム施設や水源計画及び昨年度に設置した太陽光発電設備の説明を行いました。



### 房総導水路施設見学会行程図



房総導水路管理所（大網揚水機場）では、電気設備の障害事例として、特別高圧受変電設備の断路器の焼損事故及び、真空遮断機の焼損事故について、破損した機材を提示して説明し、老朽化の現状を理解して頂きました。

最後に長柄ダムでは、管理棟屋上から貯水池全景を見学した後、屋内の模型を使って、浄水場への送水ルート等について説明を行いました。

今回の施設見学では、上記以外にも、房総導水路事業は、両総用水事業で整備した施設を活用した計画となっていること、数度に渡ってポンプで揚水するため電力への依存は高いが、夏期の電力契約制度を活用してコスト削減に努めていること等についても説明しました。

最後に、参加頂いた方々に御礼を申し上げ、約1日を掛けた施設見学会を終了しました。

#### ○参加頂いた機関

千葉県水政課、千葉県水道局、千葉県企業庁、千葉市水道局、九十九里地域水道企業団、南房総広域水道企業団、水機構本社(水路事業部、関東事業担当)

